

# 北海道臨床教育学会 第2回大会プログラム

1 主催 北海道臨床教育学会

2 共催 北海道教育大学

3 期日 2012年(平成24年)7月14日(土)・15日(日)

4 会場 大会1日目 札幌サンプラザ 2階 金枝の間 (札幌市北区北24条西5丁目)  
大会2日目 北海道教育大学札幌校 講義棟3階 (札幌市北区あいの里5条3丁目)

## 5 日程概要

※ この案内の最終面には、以下の概略よりも詳細な日程の一覧表を記載しております。

大会1日目 7月14日(土)

12:00	13:00	13:30	14:30	17:10	18:00	20:00
理事会	受付	記念講演	シンポジウム	基調提案	懇親会	

大会2日目 7月15日(日)

9:00	9:20	10:30	12:00	13:00	13:40	15:30	17:30
受付	自由研究発表 実践事例検討部門	課題研究Ⅰ	昼食 ※	総会	課題研究Ⅱ	自由研究発表 一般研究部門	

※ 大会2日目の昼食については、大学生協の食堂は営業していませんが、大学近隣にコンビニエンスストアやラーメン店・そば屋・定食屋などがいくつかありますので、各自でご利用ください。

## 6 大会参加費・懇親会費

### (1) 大会参加費

※ 参加された最初の日に受付にてお支払いください。両日参加の場合は1日目だけで結構です。

- ① 正会員 2000円(大学研究者・教職員一般社会人・学生院生 共通)
- ② 当日会員 2000円(非会員の当日参加者には学会紀要第1号の配布をいたしませんので、必要な方は大会受付または学会事務局に御相談の上で別途ご購入ください。)
- ③ ボランティアスタッフ 無料(詳しくは次のページ下部の募集記事をご覧ください。)

### (2) 懇親会費

懇親会は大会1日目18時～20時に札幌サンプラザにて立食形式で計画しております。食材の事前調達の関

連から開催 10 日前の参加人数報告が必要です。そこで、今回も前年と同様に、懇親会費の事前支払い制度を設けました。理事会としましては大会運営の計画を立てやすくなりますとともに、会員におかれましても当日の支払いに比べて割安となりますので、できるだけ郵便振込による事前の申し込みをお願いいたします。

① 事前の郵便振替での支払い 4000 円

② 当日の会場での現金支払い 5000 円

※ 事前申し込みをなさっていない方については、当日になって懇親会への参加を希望なさっても会場の定員の都合で入場いただけないことがあります。

※ 郵便振替口座記号番号は **02730-0-69059**、加入者名は**北海道臨床教育学会**です。番号等を印刷した払込取扱票を同封していますが、郵便局備え付けの用紙に手書きしていただいても構いません。

※ 郵便振込での申し込みの締め切りは 7月2日(月) 振込完了分までとします。その際、郵便振替手数料(窓口利用の場合 120 円、ATM 利用の場合 80 円)は本人負担でお願いいたします。

※ 事前申し込みの振込をなさった方が懇親会を欠席されることとなった場合、7月10日(火)までに学会事務局へ欠席の旨の連絡をいただければ、後日返金いたします。それ以降の欠席連絡につきましては、返金をご容赦いただき、学会会計に繰り入れさせていただく場合がございます。

※ このご案内と懇親会費事前振込用紙は、5月上旬にお送りした大会案内(第一次)に際して同封したものと同じです。既に納入された方は重複支払いとならないようご注意ください。

※ これから入会予定の方がありましたら、事務局から入会関連資料と併せて懇親会申し込み郵便振込用紙をお送りしますので、お早めにご連絡いただければ幸いです。

※ ボランティアスタッフについても、期日までに郵便振込での事前の申し込みがあれば、会員と同様に取り扱います。

## 7 ボランティアスタッフ募集

学生・院生をはじめ多くの方にとって学会に参加しやすくなる制度として、通常の会員・非会員の大会参加費の区分と並んでボランティアスタッフというかたちでの学会参加を理事会から提案します。ボランティアスタッフには、大会までの準備や当日の運営あるいは片付け等を手伝っていただく代わりに、大会参加費の徴収を免除したいと考えております。会員の皆様からお近くの非会員の方にもお知らせいただき、学会活動への参加の入り口としてボランティアスタッフ制度を活用していただければと考えています。

つきましては、ボランティアスタッフを若干名募集します。ボランティアスタッフ希望者は、随時、学会事務局までご連絡ください。

(付記) 通常の参加費をお支払いいただける会員の方でも、大会運営をスタッフとして支援していただける方がいらっしゃいましたら、事務局まで随時ご連絡いただければ幸いです。

## 8 会場までの交通手段

(1) **札幌サンプラザ** (札幌市北区北24条西5丁目 電話011-758-3111)

地下鉄南北線「北24条駅」で下車し、1番出口から出て西へ200m(3分)ほど歩きます。

乗用車でお越しの場合、札幌サンプラザ内の立体駐車場に留めて2階のクロックで駐車券を示せば、駐車した時間に関わらず、終日100円となります。



札幌サンプラザの交通案内 HP (アクセスマップ)

<https://www.s-sunplaza.or.jp/info/map.htm>

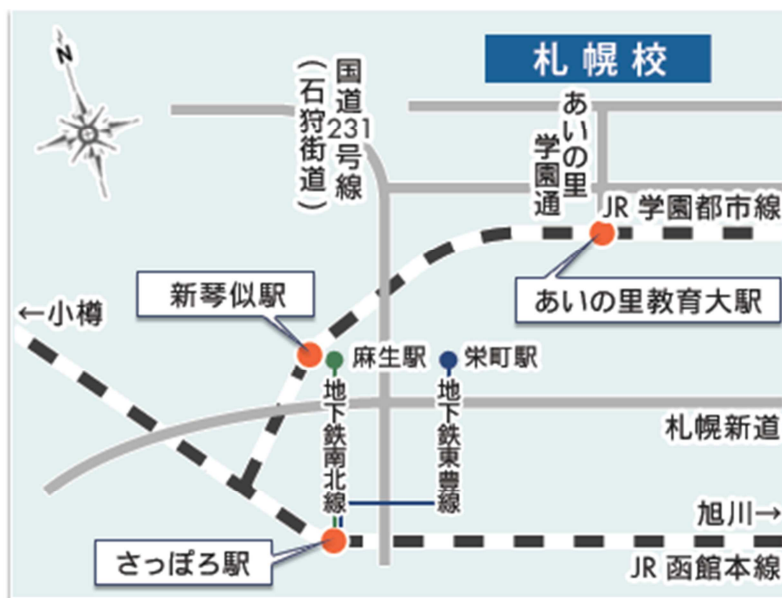
(2) 北海道教育大学札幌校 (札幌市北区あいの里5条3丁目)

JR 利用の場合

- ◇ JR 「札幌駅」 から学園都市線に乗車して「あいの里教育大駅」まで約 30 分
- 「あいの里教育大駅」から道なりに大学へ徒歩約 20 分 (約 1.4km)
- 会場周辺のタクシー (暁交通) 011-771-6000 または 011-771-3631

地下鉄とバスを乗り継いだ場合

- ◇ 地下鉄南北線「麻生駅」から中央バス「麻 24 あいの里教育大線」で「あいの里 4 条 5 丁目」又は「教育大前」下車、徒歩 2 分
- ◇ 地下鉄豊東線「栄町駅」から中央バス「栄 23 栄町・教育大線」で「教育大前」下車、徒歩 2 分



北海道教育大学札幌校の交通案内 HP (アクセスマップ) <http://www.hokkyodai.ac.jp/access/>

## 内容詳細

### 記念講演

[ 大会一日目 7月14日(土) 13:30~14:20 (50分) 札幌サンプラザ ]

福井雅英 (北海道教育大学教職大学院・教授/本学会・会長)

# 教師としての生き甲斐を掘る鍬 ～ 私にとっての臨床教育学を考える ～

司会:

畠山 貴代志 (札幌市立伏古小学校・校長)

### シンポジウム

[ 大会一日目 7月14日 14:30~17:00 (150分) 札幌サンプラザ ]

## <生<sup>ライフ</sup>>にふれる声を聴き、<私>のことばで語り合う — いま「臨床教育学」の展開に期待すること

臨床教育学は、困難を抱えて生きる「当事者」の声を聴き、自分のことばで語り合い、人間発達援助について思索を深めることを大切にしてきました。昨年の設立総会や、第1回研究大会のトーク・アンド・セッションでは、このようなカンファレンス型の学びから、新たな臨床の知が立ち上がってくる機運を感じることができました。

いま、臨床教育学は、学校の教師と、様々な領域の発達援助職の人びとが、子ども・若者たちの生存と発達を祈る想いで集い、学び合い、支え合うことをめざしています。今回のシンポジウムでは、<3・11>の震災以降のいまを生きる意味も深く考えながら、実践現場と我が身を深く分かち合う学問としての臨床教育学の近未来を探りたいと思います。

なお、パネリストには、保育、看護、福祉、医療、教育分野の専門職(心理カウンセラー、保育士や学童保育指導員、巡回教育相談員、小・中・高・特別支援教育の教員、養護教員など)のほか、矯正教育の専門職のかたにもご登壇いただく予定です。他者の<声>に触れながら自己の臨床実践を深くふりかえり、穏やかな希望をつかめるシンポジウムになることを期待しています。

司会:

内田 雅志 (札幌市児童心療センター)

発題:

庄井 良信 (北海道教育大学大学院)

パネリスト:

安達 俊子 (余市教育福祉村ビバハウス)

小菅 淳子 (札幌市教育委員会・特別支援教育巡回相談員)

齋藤 由利子 (札幌市立新琴似中学校・養護教諭)

笹木 陽一 (札幌市立屯田北中学校・教諭)

柴田 田鶴子 (NPO法人川沿あすなる児童育成会・学童保育指導員)

高橋 亜希子 (北海道教育大学旭川校・准教授)

## 基調提案

〔大会一日目 7月14日(土) 17:10~17:40 (30分) 札幌サンプラザ〕

司会:

畠山 貴代志 (札幌市立伏古小学校・校長)

提案者:

庄井 良信 (本学会副会長/北海道教育大学大学院・教授)

「記念講演とシンポジウムの議論を承けて」

## 課題研究 I

〔大会二日目 7月15日 10:30~12:00 北海道教育大学札幌校 305 教室〕

# 震災体験に教育実践はどう向き合ってきたか

—— 非日常の震災体験のなかに日常の危機と願いを読みとるために

前回大会の本課題研究 I (被災体験)では、地方学会にふさわしく、まず北海道の過去の被災体験(有珠・奥尻)からの回復・復興にかかわる実践事例報告を受けました。そこでは、今回の大震災を非日常的な体験の側面からのみ捉えるのではなく、大震災を契機にそれまでの日常的な危機的様相(貧困や格差拡大や子どもたちの生活世界の様相等)ならびにそれまで地域と学校が蓄積してきた豊かな財産(地域と学校内外での密接な関係性等)が拡大して浮き彫りになって現れてきたものとして捉えることの必要性が議論されました。

この初年度の研究成果を踏まえて、震災体験と教育実践の課題は本学会として継続して検討すべき研究テーマであることを理事会で再確認いたしました。そこで今回は、(1)北海道も軽度であっても今回の大震災を経験した地域の一部でもあり、そこで直接・間接の被災にどう応答してきたのか、の報告と(2)北海道に避難している方々への支援・援助実践の報告 の2本を軸に、震災体験とそれへの対応という非日常的体験のなかに、どのような日常の危機と願いが透けて見えてきているのか否か、参加者とともに深めたいと考えます。

司会・発題:

池田 考司 (北海道江別高等学校・教諭)

富田 充保 (札幌学院大学・教授)

報告者:

中根 照子 (釧路市立釧路小学校・教諭)

土井 寿 (北海道子どもセンター・事務局長)

## なぜ、教師・援助者は「実践記録」を書くのか —— 根源的かつ臨床的《リフレクション》(振り返り)とは何か

さまざまな実践の現場で、それぞれに多様な「記録」が、それこそ膨大に書き記されています。そもそも、その「記録」は何のためのものか。報告のため、備忘、引き継ぎ資料、後日の証明、情報共有なども記録をとる動機になります。しかし、実践者として成長しようという場合には、自分の実践を記録することにもう少し他の意味を込めるでしょう。

子どもの姿と実践の事実をリアルに記録することは実践者自身が、自己と対話することになります。無意識に行ったように見えた自分の判断を意識化することになり、その判断を問い直すことは、思考の枠組みを吟味することにつながります。子どもの問題に向き合いながら、子どもが成長するとはどういうことか、人間にとって教育とは何か、学校とはどういうところか、などと、そもそもどうなのかという大きな問いが湧き上がることもあります。また、文字化された実践の記録は何度でも読み直すことができ、読みかえせば新しい気づきが生まれますし、関心を持つ他者の批評を受けることもできます。

そのような実践記録の意味と方法について、いくつかの報告を受けて考え合いたいと思います。昨年の課題研究Ⅱでは、「カンファレンス」について考えました。今年は、実践記録とカンファレンスが循環することの意味もまた確かめられればと思います。

### 司会：

大口 久克 (せたな町立大成中学校・教諭)  
相座 卓己 (北海道教育大学教職大学院・院生)

### 発題：

福井 雅英 (北海道教育大学教職大学院・教授)

### 報告者：

田澤 裕子 (札幌市立栄東小学校・教諭 / 北海道教育大学教職大学院・修了生)  
本間 康子 (北海道余市紅志高等学校・養護教諭)

### 指定討論者：

内田 雅志 (札幌市児童心療センター・セラピスト)  
宮原 順寛 (北海道教育大学大学院学校臨床心理専攻・准教授)

自由研究発表部分に関しては別ファイルにて差し替えさせていただきます。

## 事務局からのお知らせ

### 第2回定期総会のご案内

学会大会2日目の7月15日13時から開催されます第2回定期総会においては、会則改正、決算案、予算案、役員選挙規程改正、役員選挙結果、新役員任務分掌、監査交代、その他に関する審議を予定しております。

特に会則改正に関わっては、会計年度の設定期間の変更を理事会より提案する予定です。現在の規程では、2011年1月29日の設立総会から2012年7月15日までが初年度の会計年度期間となるため、会計決算および会計監査の結果を今回の総会に報告し審議していただくことができないこととなります。この原因は、会計年度についての定めが、定期総会を含む学会大会の翌日から次の定期総会を含む学会大会の最終日までとなっていることにあります。そこで、会計決算ならびに会計監査が定期総会に間に合うように会計年度の期間を再設定するために、6月1日から始まり翌年の5月31日に終わる会計年度とする会則の改正を提案するものです。このほか、会則その他に関わるいくつかの修正も予定しておりますが、詳細は大会時に配布する総会資料に譲ります。

なお、総会に会員総数の過半数の参加がない場合には、仮総会となります。会員みなさまにおかれましては、総会にご参加いただきますようお願いいたします。

### 住所変更・所属変更等の連絡のお願い

会員名簿を学会大会の際に配布する予定です。異動その他でご住所やご所属等の変更があった方は、随時、学会事務局までご連絡いただければ幸いです。

なお、理事会における部会編成などの際に、会員の所属や専門領域等の情報を利用いたしております。名簿の情報公開をほとんど掲載不可となさっている方についても、情報の更新については随時お願いいたします。

### 問い合わせ先・連絡先（学会事務局）

郵便番号 002-8502

郵送先 札幌市北区あいの里5条3丁目 北海道教育大学 宮原順寛研究室気付

北海道臨床教育学会 事務局 宛

電話番号(ファクシミリ共通) 011-778-0442 (研究室直通)

# 北海道臨床教育学会 第2回大会 プログラム

大会1日目：7月14日(土) 会場：札幌サンプラザ (札幌市北区北24条西5丁目)

時間帯	内容	部会テーマ等
13時00分～	受付	
13時30分～ 14時20分	記念講演	福井雅英 (会長・北海道教育大学教職大学院教授) <b>教師としての生き甲斐を掘る鍬</b> ～ 私にとっての臨床教育学を考える～
14時30分～ 17時00分	シンポジウム	<b>&lt;生(ライフ)&gt;にふれる声を聴き、 &lt;私&gt;のことばで語り合う</b> —— いま「臨床教育学」の展開に期待すること
17時10分～ 17時40分	基調提案	庄井良信 (副会長・北海道教育大学大学院教授) —— 記念講演とシンポジウムの議論を承けて
18時00分～ 20時00分	懇親会	(札幌サンプラザ内の金枝の間の隣の立式会場にて)

大会2日目：7月15日(日) 会場：北海道教育大学札幌校 (札幌市北区あいの里5条3丁目)

時間帯	内容	部会テーマ等
9時00分～	受付	
9時20分～ 10時20分	自由研究発表 (4分科会)	<b>実践事例研究部門</b> (事例報告30分;質疑応答20分;指定討論者コメント10分)
10時30分～ 12時00分	課題研究 I	<b>震災体験に教育実践はどう向き合ってきたか</b> —— 非日常の震災体験のなかに日常の危機と願いを読みとるために
12時00分～13時00分	昼休憩	
13時00分～ 13時30分	第2回 定期総会	会則改正(会計年度の変更等)、決算審議、予算案審議、役員選挙規程改正、 役員選挙結果報告、新役員任務分掌、監査交代 ほか
13時40分～ 15時10分	課題研究 II	<b>なぜ、教師・援助者は「実践記録」を書くのか</b> —— 根源的かつ臨症的<<リフレクション>>(振り返り)とは何か
15時30分～ 17時30分	自由研究発表 (2分科会)	<b>一般研究部門</b> (発表20分;質疑応答10分) ※第一次案内での予定に比べて終了時刻が30分遅くなっております。